

を 救

炭で地球 Charcoal saves the

りべ は スの注 下 生産 \mathcal{O} 材 を加 料となる 板 け テ であ の ナ 4 工 が を 商品は す 使 鉄 製 て機 ス る。 わ 作 の れ ス \mathcal{O} それ し 全て 梱包 械 金 テ 板 て 所 シレ て の 加 ゃ は、 b 会 お 力 \top 棄物 行く か てもらうの ら け を 運 り、 は 自 れ ^ルだ。 業者 ば の 焼 -ŧ れ は 却 な そ 局 に ち て 施 有 ら 持って l は ŧ 料。 で た の事実に社 設 まうの 焼却 お I U い . 持 金 産 な 施設か 業廃 行 って が そ L が つ 1) の 窯 \mathcal{O} 出 れ炭 た

が

そ

の

梱

包

木

لح

う思

窯に

す

れ

ば

で造ら う。 決め つき、 第2号は、 改 作 躍 生したのだ を炭にすることを思 たのだ。 を 週間 った社長は 火に てきてし 造して作られ か、 てしまい、 焼き途中でレンガ つ し い 焼き窯を作 たとい た社長 レンガ てい 料以 作ることが /焼き達 と 不 そこから炭焼 耐 で試 れ 本 えら る、 外 た。 そん 安に 当に ま 耐 の は う。 作 は、 2 7 5 梱包木 見 れ 第 1 用 ったとい 火が外に 火レンガ う できる 炭焼 た試 それ わずか 道さ 途 夫 な な ろうと か 事 号を が か で Ļ っ 度 割 誕 き 作 を き 材 を れ い の が \mathcal{O} ジ

か な の な られ、 籠らな 望に れが と 思 か。 プは女性 を提供し 様々な場所に い」というお客様 きいものを と社長夫人は語って ことができるのだ。 り、どこでも炭を焼 キャスターがついて そんなマイナスイメ が、この炭焼き達人は 番 を た ゃ 初 タイプと中型の ちゃう?」 は 小\ 元 て けるようデザイン 応 また「もう少し 東大阪ス われ の で に さ 見 では 規模 来 作られ え、 い 事 がちで てい で 1 形 サ に覆 中、 も 一 人 に 作 1= 炭焼 客様のこってほ る。 合 は タ た け なった。 ズ -ジを覆 わ 大 が あ のが だろう し イル、 な 言 の 山 、 で 炭 タイ き窯 った /]\ せ た。 い で 作要 大 U 型 て お て 刷 焼 伝えられてい

その効率 できあ 炭と 割る じも 温と によ 燃料にする。 に入っているものと同 燃料に使 密閉 が 分などを使用すること 余った梱 混ざってしまうため の 炭ができあがる。 の燃料でもたくさんの そうだ。 たら灰に で炭を作るの 炭焼きで を手に なら木 燃料は、 そ で 物 け いって、 時に きて Ō 木 ؈ۛ が 1 は き 酢 が できていな な 閉 小を燃料 炭焼き達 した だ が できるフシ部 包木材や竹を 木で炭を作 わ なってしまう る なかったら生 液 ってしま で 切 人で れ 1 良 要 わ あ \mathcal{O} お客様 竹 0 なら竹を るのは中 Ś な 使 インクが だ。 使 。また、 わ は 少し 人は か 液 % わ ず、 印 る が つ

か

つ

梱

包木

役に立て

た

U

焼

却

さ

L

れ ためだ。 年、 引 先 いう。しかし平成14年は暗中模索だったと で 程度の目途がついた所 作第3号を作り、 できたのだ。そして試 炭 きの現場を見に行き、 造しながら、 年 人が近くにいなかった ŧ 間は作 の申請 支援法の承認と補助 同年12月、 焼きさんとの接点が の月日 転 岐阜や岡山 した炭焼き達人だ の社長に連れ /焼きに 焼き窯は少しず 説 得した。それか 機が訪れる。 \mathcal{O} 製造には5 思 ったものを改 を同時に行な 明してく が 近づい か いついて1 その後3 か つい つてい [に炭焼 経営革 て ある b 取

作 の力という本に 品 第3 号 完 成

り返し だ。 や、 ことができ、 岸 完成の炭焼き窯を車 炭 ド ではたくさんの人にア のプロが集まる偲ぶ会 会」にも出席する。 先生の言葉に押され 来なさい」という杉浦 から、炭焼きを積ん 1 してくれていたそう は初期の段階から応援 は 先生に出会い、 をされている杉浦銀治 社長と社長夫人。そこ いう文章を発見し、 回 イスを受けた。 6月25日、 | |目 が 炭 せて東京 バ 2月、「供養になる けば良いのかを聞 本定吉先生を偲ぶ そして平成15年 これからどうし イスをも 数多くの炭の監 き達人は完成。 決 の 行なわり 8 研究につい 炭化学会 手となっ へ向 杉浦先生 れ そこで アド かった . る そ 炭 で < て て バ 1

あ

日

て

京 大 す。 // て、 ス 発 振 5 窯 つ 年 炭 は た。 1月 IJ 年 開 売 炭焼 لح 返間 発

うに話していた。 解だということがわか ことができる にもほとんどお会いし ればこんなにチャン りました。一生懸命や をして、炭焼きは、 長と社長夫人 験教 います」と、 がりました。今では があるんで 作る"であり 焼く"って言うけど 人を実際に体験す そんな自慢の炭 本の炭焼きグル 焼き窯もでき 「すごく勉強 だからこそ 手崎社 П 工場前で開 室が、 な 12 つ を \mathcal{O} き 2カ月 嬉し 、熱分 催 さ そ プ ろう。 円 るのも、 用意されて で軽食付の体験 れている。 社の魅力 たイベントが 子どもは300円 こういっ

粉炭に る。 炭 入 に できる。 用途で活用することが することでいろい け に分けられる機械 炭をふるいで「塊」「粒」 2本のローラーで強力 て売り出されて に炭を砕き、砕か れて消臭や床下調 揃った炭は不織 でなく、 炭は燃料としてだ つて 使 割 3 りを加えて i り 達 一定の大きさ 砕いて分別 用 類 ズ したり、 ろな れた る 同 布 であ 時 の 定的

たどんを作ること

などでは

白炭が使

わ 鰻屋

作

所

では、

他

! の 炭

コナラ等の皮をわざ

供給され

る

ため、 IJ |

れ 屋

て

いるの

テサキ がが好ま

て

いただけ

な力

の

火

などでは白炭

度 は

火が

こういった面

でも、

せず、

部分を残した炭

(も見せ カシ類

ため

火

付

きにくい つくと安

> 灰 は

が

出

炭のことである。

古

い

まう。

対照的

意

る。に

しかし、

般に備長炭と が白炭だ。 かけて急冷させたもの 状態のものに消し粉を 温度が高く、 る 冷却したものが黒炭。 た所を見計らって自然 炭と黒炭の2種類 ができる。このように、 ところで、 の使い道は様々だ。 事をご存じだろう 炭を焼く際、でき 白炭は、 炭には・ 真っ赤な 呼ばれる へが あ 白

> が 却 る

で

は

木

の

の

は

達

لح

亚

7 X

製 て

作

所

いるそうだ。

· 然冷

却 黒

о

柿

験

の

料に使うと灰がでてし ため多孔質になってお 使うのに向 みやすい事から農業 そのまま残って 皮を焼いているため そこには微生物が の炭焼き達 ることは 炭だ。 ため、 黒炭 導 い 自然冷 テサキ な 白炭 を燃 て いる など でき い 他にも、 気 揚 が、 中 ないことはないから暗 が たい」と社長夫人は 1) を行なっているそうだ での備長炭などの実験 てしまう。 果物までも飾り炭に やパイナップル う。 模索。 栗や 行 れ なかなか難し なわ 々と話し あえて中に木の しかし、「でき 白炭窯も作り ぼ れ か 他 て つくり、 いる。 てい 1= Þ ŧ など な実

Ŋ

住

茶が 分に火が やっ 夫人は ら人々は りが 菊炭 لح 炭に てくる。 上に乗せると、 つかってきますね お茶を沸かす時に になって ば たもの 残して未炭 知る と呼 ついての てると必ず炭 始まるのだ。 出てくる。 で菊の模様 日 炭につい 席に着 通 ほど伝統 ばれて いることから 本の IJ 菊の模 思いを口 伝 そこ 木の 木の 1= て が出 社長 する 火 仕 香 か 部 の 様 を お 上

い

لح

は

するまでやり続 けること

えず、 バネに すことが ため、 元消防 イックキ 前で燃え盛る火 るにも 案したも んと伸生さん親子 という製 クイックキ 震災の際 ヤー との - を考案 Ш 団 連携 · 所に る クイックキ の 林田さん λ 水位が低 な ・ヤッチ の水を吸 の の 以 出 消防 林田 は 商 ヤツチヤ で作られた 来なり い思 ったとい な あ 争を 経が か たの 阪神大 を は か 高 ヤ る。 ダン2 か ヤ い 目 つ 水 が 明 テ だ ツ を つ 消 た す 使 考 5 は の ク 口 لح 思 لح 見 依 れ イ

さん ラジ 成13年、 りで持ち込んだも クキャッ まっせ!』というキャ 事となったのだ。 を作成した。そして平 商品として販売され 商品化をロダン21に 確信 た 頼 ックキャッチャ はうちで作れる!」 ダン21 手崎 そ が 才 れを聞い ٢ 林田さんが チャー すぐにクイ 社長は、 しめられ ズを すぐに 林田さん 紹 亡 の 掲げ 介さ た林 の 事 たク . 見 本 のを 手作 製造 の れ る る は ツ ツ

シ 支 は、 \exists そもそもロダン21 援 ン・コ 東大阪モ 点 「クリ ア 東大阪 ノ作り エ

何

でも

年、 異業種 に で活 の特徴である「作れる」 1 集められた。 より意欲旺盛な企業が IJ する東大阪 づくりの街 株式会社化 であ 総合プロデュース会 を設立。 13社でロダン2 ずる、 \mathcal{O} る。 融 <u>\P</u> 市の 合化を促進 -成13 平成11 モノづく L 東大阪 た。 公募に 79年、 Ŧ 年

る。 で、 ワ | という最大の特徴を活 を 業務を行ない、 できるま かしたコーディネー る の 核 何でも商品化 関 寸 クを広げ の を 幅 りは で中 \Box 広い 構築してい ダン21 ること ネット 製造 か 企 しでき つ 業 |

> 社長は語っていた。 ても良 7 ら 政 気策であ 横 増 の繋 え、 ると لح が

せん。 NEVER るという社長夫 と仰ってい 考えていくモノづくり と環境保全との共 「そんなものはあ という質問をよくされ をしていきたい 商品…すなわち製造 「成功する秘訣は何 の からも環境 UP!成功する 展 望につい 手崎社 た。 また、 です」 りま 人 八存を 関 長 G か は 業 連 T は

る 1 す」とい までやり続ける 向 て う言葉 を若者 て

所。 言わ う から 成 \mathcal{O} いその姿勢がたくさん う。」と諦 な 度もくじけ 組んできたテサキ製 かったら失敗し いがらも 功 粘り強く、 々 焼き窯 絶 れ に る。 導 対 心を動 「や やり い めずに それは そうに の た IJ の 続 た人と 作 か だろ 取 め け 嫌 なり け で な 作 IJ ょ だ 何

(吉田 祐子)

